

参加者数：95人

(子育て一般など35人・地域32人・乳幼児28人)

防災パーティー (仲間を考える)

2日目

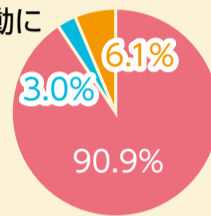
参加者の声から

- いつも子どもの登下校の見守りありがとうございます。もっと交流の機会がもてるといいなと思います。自分が知らなかった地域の活動を知れてよかったです。
- 若いママさんと交流ができてよかったです。皆さん、若いのにしっかりされていますね。よい刺激になりました。活動の内容があまり知られていないようです。もっと発信していかないと、思いました。



【質問1】今日参加して地域や地域活動に関心が高まりましたか？

- ① 関心が高まった…… 90.9%
- ② ふつう…………… 3.0%
- ③ それほどでも…………… 6.1%



地域福祉が専門の甲南女子大学准教授の鈴木大介先生を講師に、普段地域とつながりがない子育て中のママ達と、地域活動協議会の役員や防災を担当されている皆さんとが、同じテーブルで「防災トーク」。「はじめまして」の自己紹介をきっかけに、地域のお役立ち情報や避難所を運営する際に配慮してほしいことなど、和やかな雰囲気での話が繰り広げられました。その後、防災食を実際に作って人数分に分け、試食。防災をきっかけに、地域の方と交流するひとときになりました。参加したママ達にとって地域活動に関心が高まるきっかけとなったようです。

参加者インタビュー ～2日間を通じて～

◆井上さん (中加賀屋にお住まい)

身近なテーマだったので参加

小さい子どもがいますが、災害への備えを何から始めたらいいかわからなかったので、今回のテーマはとても身近でした。備えとして必要なことがわかり、大変参考になりました。

地域活動についてはもう少し情報があれば

地域の方とお話できてよかったです。知らなかった地域情報も教えていただけました。地域行事などの活動についても普段からもう少し知る機会があれば、参加しやすくなるかなと思いました。



◆松崎会長 (さざんか加賀屋協議会)

新たな視点があった

地域で防災を考えると、これまでどうしても高齢者層への手助けが中心だった。今回参加して、乳幼児がいる家庭にどのように手助けできるのか、安心してもらえるのか、新たな視点で考えていくきっかけになりました。

コミュニティの大切さを伝えたい

今回若い参加者と話してみて、町会など地域コミュニティのことがほとんど知られていないと改めて感じた。災害は自分一人ではどうすることもできない。普段のつながりが大切なので、もっともっと地域活動を知ってもらい、参加しやすいものにしていきたい。



この特集を“きっかけに”。
まずは参加してみませんか？

今回ご紹介した防災に関する取組みの他にも、地域ごとに趣向を凝らしたお祭りなど、大勢が集い、楽しく気楽に参加できるもの、清掃活動など自分が参加できる範囲でまちがきれいになり地域貢献できる活動など参加しやすい活動はたくさんあります。

お住まいの地域の会館や学校の校門周辺などにある地域の掲示板の存在にお気づきですか？地域の広報紙や行事ポスターが掲示されています。ぜひ、ご注目ください！

地域の掲示板にご注目！



きれいに貼られた
地域行事のチラシなど